

紫波総合高校同窓会報

第42号

発行 令和六年二月二十七日

岩手県立紫波総合高等学校同窓会事務局



ごあいさつ

同窓会会長 佐々木 順 一 高二十二(昭四十五卒)

会員の皆様におかれましては、日頃から同窓会活動と母校支援に御協力を賜り心より感謝申し上げます。令和五年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、制限されていた様々な活動が再開され始めた一年でありました。

そのような中、母校の部活動の活躍も目を見張るものがあり、例えば伝統ある自転車競技では、県高総体において、トラック総合とロード総合で優勝を果たしました。また、「燃ゆる感動がごしま国体」の自転車女子チームスプリントにおいて、卒業生の小原さん・熊谷さんチームが大会新記録で優勝し、県勢女子初の優勝を果たしました。本校生徒に加え、同窓生の活躍もすばらしく、輝かしい成績を残したことは非常に喜ばしく思います。

同窓会活動においては、令和五年七月一日に定期総会が開催されました。当日は総会に先立ち、村松輝夫前同窓会長から御講演をいただきました。定期総会には関東支部からの参加者もあり、また、これまでは見送られてきた懇親会も四年ぶりに行われるなど、盛大に開催されたところであります。

一方、私にとって令和五年度は、四年に一度の県議会議員選挙の年でありました。おかげさまで持ちまして七回連続当選を果たすことができましたが、選挙という特殊な事情もあったことから、同窓会長としての務めを十分に果たすことができず申し訳なく思っております。

本校では、地域と連携した学校の魅力化に取り組んでいます。先進的な取組が全国的に注目されているオガールプロジェクト事業を始め、紫波町役場や紫波町商工会などと連携し、地域を学び体験することで、地域の発展を担う人材、地域産業を支える人材の育成を目指し、様々な取組が進められています。学校や家庭はもとより、企業や役場等と一体となって進められており、我々同窓会としても、母校の発展のため積極的に協力をしていきたいと考えております。

最後に、同窓生の皆様におかれましては、学校の魅力化の取組や同窓会活動につきまして、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶いたします。

自転車競技部インターハイ出場





御 挨拶

校長 松 田 隆 宏

同窓会員の皆様には、日頃から母校の教育活動に物心両面から御支援と御協力をいただいておりますことに厚く感謝申し上げます。

4月から谷藤節雄前校長の後任として校長を務めさせていただいております。松田隆宏と申します。歴史ある本校の更なる発展のために、微力ではございますがお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校は岩手県立紫波総合高等学校と改称して19年目となり、今年93周年を迎えました。生徒たちは、「To the future」を基本方針として掲げ、これまでの歴史や伝統を継承しながら、新しい取り組みを行い、一歩前に進み、より素晴らしい歴史を刻んでいきたいと

いう思いで学校生活を送っております。

令和5年度は92名の新入生を迎え、全校生徒数27名（1年次92名・2年次69名・3年次66名、男子107名・女子120名）、教職員数は非常勤職員を含み54名でスタートいたしました。本来の定員は3年次160名、2年次160名、1年次120名の40名ですので、約50%の充足率になります。また、少子化等の影響により、本校は定員割れが毎年続いております。令和5年度から年次進行で1学級減となり、令和7年度に各年次3学級が完成します。本校に限らず生徒数の減少は、学校の活力にも直接影響を及ぼす要因にもなりますが、生徒たちは明るく極めて落着いた学校生活を送っております。

部活動では、部員数の減少に伴い他校と連合チームを組まなければならない部が多数あります。そのような状況下で、自転車競技部には岩手県大会、そして東北大会を勝ち抜き全国大会への出場を果たした選手もおります。また、文化部におきましても音楽部、美術部、書道部、そして郷土芸能委員会が各種大会等へ出場・出展し、入選・入賞しております。系列におきましても産直「かし

わの里」を運営したり、近隣の商業施設や商店街、産業まつり等において生徒が大切に育てたシクラメンを販売したり、「お弁当販売・ワンデイシェフ」として地域店舗にて1日レストランを運営したりと地域に密着した活動を展開しております。また、「令和5年度国産食肉惣菜コンテスト岩手県大会」で優秀賞を受賞した生徒もおります。

今後、生徒の数が減っていくことは避けられない事実ではありますが100周年を見据え、総合学科高校の特徴を維持するとともに、本校の魅力を「学校ホームページ」やメディア・プラットフォーム「note」等を活用して積極的に外部に発信し、紫波町内はもちろん、多くの生徒たちが入学したいと思う学校にしていきたいと考えております。そのためには、生徒、保護者、教職員が一丸となって魅力ある学校づくりに取り組むことはもちろんのこと、同窓生の方々からのお力添えもぜひとも必要です。様々な面で同窓生の方々からの御理解と御支援をお願いし、紫波総合高等学校同窓会のますますの発展と会員皆様の御健勝を祈念し、御挨拶いたします。

2023年度事業報告

【令和5年】

- 4月 7日(金) 入学式
- 4月13日(木) 会計監査委員会
- 5月12日(金) 第1回同窓会運営委員会
- 7月 1日(土) 令和5年度同窓会定期総会
盛岡南ショッピングセンター NACS
- 8月 4日(金) 赤沢支部総会

【令和6年】

- 2月 2日(金) 第2回同窓会運営委員会
- 2月29日(木) 同窓会入会式
- 3月 1日(金) 卒業式
- 3月24日(日) 関東支部総会

令和5年度 役員名簿

	役 職	氏 名	卒 回
1	顧 問	工 藤 眞 巨	高 7
2	顧 問	村 松 輝 夫	高14
3	顧 問	松 田 隆 宏	学校長
4	会 長	佐々木 順 一	高22
5	副 会 長	川 口 政 志	高13
6	副 会 長	滝 浦 重 美	高18
7	副 会 長	戸 塚 勤	高19
8	副 会 長	外 川 直 美	副校長
9	副 会 長	川 村 信	事務長
10	監 査 委 員	中谷地 紘 一	高15
11	監 査 委 員	池 田 毅	高17
12	監 査 委 員	柏 原 信 孝	高24

支 部 長

	役 職	氏 名	卒 回
13	日 詰 支 部 長	堀 内 憲 一	高20
14	古 館 支 部 長	宮 吉 太 郎	高15
15	赤 石 支 部 長	高 橋 吉 見	高20
16	志 和 支 部 長	鷹 薺 汎 使	高12
17	水 分 支 部 長	藤 原 修 一	高22
18	彦 部 支 部 長	森 田 正 毅	高12
19	佐比内支部長	佐々木 銀 一	高26
20	赤 沢 支 部 長	古 澤 志 弘	高17
21	長 岡 支 部 長	佐々木 廣 信	高20
22	紫波町職域支部長	松 村 寿 弘	高38
23	矢 巾 支 部 長	菊 池 優 徳	高25
24	石 鳥 谷 支 部 長	似 内 秀 東	高14
25	盛 岡 支 部 長		
26	花巻以南支部長	似 内 博	高20
27	関 東 支 部 長	吉 田 行 男	高13

事 務 局

	役 職	氏 名	職 員
1	事 務 局 長	佐々木 敬 之	職 員
2	事 務 局 員	佐 藤 貴 生	職 員
3	事 務 局 員	鎌 田 大 樹	職 員
4	事 務 局 員	川 村 紅 子	職 員
5	事 務 局 員	武 田 敏 之	職 員
6	事 務 局 員	千 葉 志 津	職 員
7	事 務 局 員	菊 池 智 子	職 員

5 月 かしわの里オープン



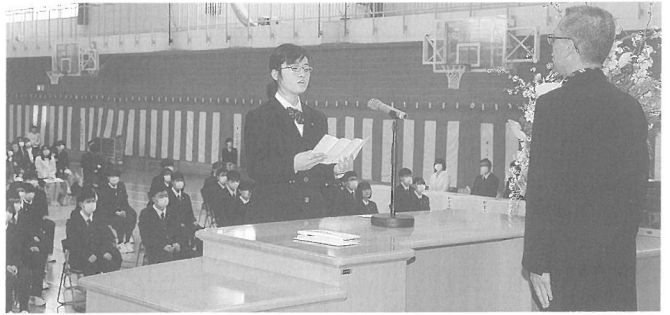
県高総体開会式



6 月 スポーツ大会



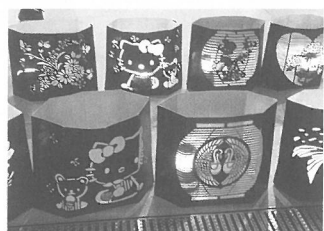
4 月 入学式 92 名入学



対面式



10月 紫鷲祭



同窓会総会



事務局だより

- 同窓会報に投稿いただきまして、感謝申し上げます。
- 同窓会総会は昨年度から再開し、学校外の場所で実施するのは4年ぶりとなりました。講演では前同窓会会長の村松輝夫様から「高校時代の思い出、自転車競技との出会い」という演題で講演して頂きました。大変興味深い内容で、参加者の皆さんは前同窓会長の話に聞き入っておりました。その後、懇親会も4年ぶりに開催し、近況報告等とても盛り上がり、親交を深め合うことができました。
- 卒業生には、就職先、進学先住所等を教えていただけるよう呼びかけています。本人と保護者の同意を得てからとなります。その後集約し、その住所を各支部長に通知します。
- 今後、各支部の活動が活発になっていくよう、事務局として支援していきたいと思います。
- 同窓会事務局としても、後輩に先輩方の職場情報、あるいは、こんな会社で求人を出している。などの情報をお待ちしております。

※noteも引き続き、フォローをお願いします。▶



同窓会支部だより

「河川敷の林の中で行われる
体操会に入会して」

関東支部長 吉田 行男

八年程前になりますが、その頃、体調を崩し早急に整えなければと思い、目の前で行われている、体操会に入会をいたしました。同時に、体調は知り合いの医師に大学病院の泌尿器科の医師に紹介を頂き、精密検査の結果、前立腺癌と診断されました。自宅からその医療機関までは時間が掛かるので、高速道路を利用し、通院し、加療しておりました。

治療は放射線トモセラピーという機種であり、1回の照射は数分です。週5回、計38回、照射して終了となりました。

その後の治療は、半年に1回検査に行き、血液検査、MRI検査等を行い経過を見て頂くのです。

一方、体操に関しては、真剣に取り組んでおりますが、NHKの第1、第2、体操、中国の体操と続き最後は、NHKの「みんなの体操」で終了となります。

さて、私の体調ですが、放射線トモセラピーを施術されてから、朝の体操会に参加をしながら、何の後遺症もなく生活しております。また、私の都合によって、午後10時頃までトモセラピーの治療を受けることもありました。朝は5時に起床し、体操会場には6時に着き、体操の準備を当番制にして、アルミ製の小さな小屋に会員の協力を頂きながら、リュックサックに携帯ラジオを入れて、会場に持ち出す様にしております。

現在はお陰様で健康を取り戻しております。体操会の皆様のお陰と考えております。

もう一つの体操会の団体は、地元の小学校の校庭をお借りして、校庭の植樹から出る落葉や雑草を取るなど時間前に清掃して、開始時間となりますと全員そろって体操です。このように、交流を深めて参りたいと存じます。



「災害に備えて」

花巻以南支部長 似内 博

私は、昭和43年の卒業生です。その後、盛岡の自動車会社（マツダオート岩手）に入社し、7年後退職をして、その後まもなく昭和50年に会社（日詰自動車）を設立し現在に至っております。

昨年の同窓会総会では、会長の交代があり長年に渡り務められた村松会長が退任されました。大変御苦労様でした。また、新会長には佐々木順一氏が就任され、今後ますます、よろしくお願い致します。

さて令和五年の気象状況を思うと5月3日の遅霜があり、梅雨は長雨で、夏は、真夏日の連続で42日間の更新等々大変な一年でありました。今年は辰年です。辰は十二支の中で唯一存在しない動物です。辰年は想像もつかない物事が突然発生する年とも言われている様です。まさに、年明け元旦の、能登半島の大地震が起き、引き続き2日には、羽田空港の飛行機事故と思ってもよめ大惨事の幕開けとなってしまいました。令和6年が始まったばかりでこの先、穏やかに過ぎて行く事を祈るばかりです。こんな中でも自分に出来る事を再確認し、実行する事が大切だと思います。各々、行っている事はあると思いますが、私は、防災グッズ袋を準備し、常備薬は多目に用意し、マイカーの燃料は常にメーターの半分以上にしておく等々気を付ける様にしています。近年は特に、いつ何が起こるか全く分かりません。自分に出来る範囲の事をする。物資面ともう一つ心（心理）の面でも、気を強く持っていけたらと思います。